



学長 井上 博司

豊かな人間性と高い専門知識の修得を。

大阪人間科学大学は建学の精神「敬・信・愛」のもと、「人間とは何か」を原点に、平成13(2001)年に2学科から成る人間科学部をもって開学しました。平成24(2012)年には、社会福祉学科、健康心理学科に、新たに医療福祉学科、子ども福祉学科(現子ども教育学科)、医療心理学科の3学科を設置し、平成28(2016)年には理学療法学科を開設し、6学科体制のもと、対人援助分野で活躍できる専門職業人の育成に特化した、より魅力のある大学へと生まれ変わりました。さらに、令和2(2020)年には新たに作業療法学科を開設し、3学部7学科への再編成により「対人援助の総合大学」へと進化しました。

これらを基盤に平成18(2006)年に開設されたのが大学院人間科学研究科です。

本研究科では、人間一人ひとりが、より健康でより活力に満ちた良い状態(ウェルビーイング)を創出するにはどうすれば良いのか、を積極的に問いかけ、心理学及び周辺の諸科学を学際的に総合しつつ、新しい人間科学の展開を図ることを目的としています。

長期履修制度の導入や、平成30(2018)年度からの公認心理師の資格取得に向けたカリキュラムの編成において、研究科の方向性を更に明確化し、人間科学における科学的知見と臨床の実践力を通して人びとの心身における健康の回復、維持、及び増進に寄与しうる、心豊かな高度専門職業人の育成に努めています。

大学院教員

研究科長 **大野 太郎** 教授〔公認心理師・臨床心理士〕
ストレスマネジメント教育 **EAP** **産業カウンセリング** **非行犯罪臨床**

堤 俊彦 教授〔公認心理師・臨床心理士〕
児童臨床心理学 **行動療法**

岩田 光宏 講師〔公認心理師・臨床心理士〕
臨床心理学 **コミュニティ心理学** **福祉心理学** **ひきこもり**

芹田 卓身 講師〔公認心理師・臨床心理士〕
非行犯罪臨床 **思春期臨床**

荒屋 昌弘 助教〔公認心理師・臨床心理士〕
臨床心理学 **児童福祉** **支援者支援**

中村 千珠 助教〔公認心理師・臨床心理士〕
サイコソコロジー **臨床心理学**

副学長 **山岸 正和** 教授〔医師〕
総合内科学(総合内科専門医) **循環器内科学(循環器内科専門医)** **総合医学教育**

日上 耕司 教授〔公認心理師・臨床心理士〕
応用行動分析学 **発達障がい** **特別支援教育**

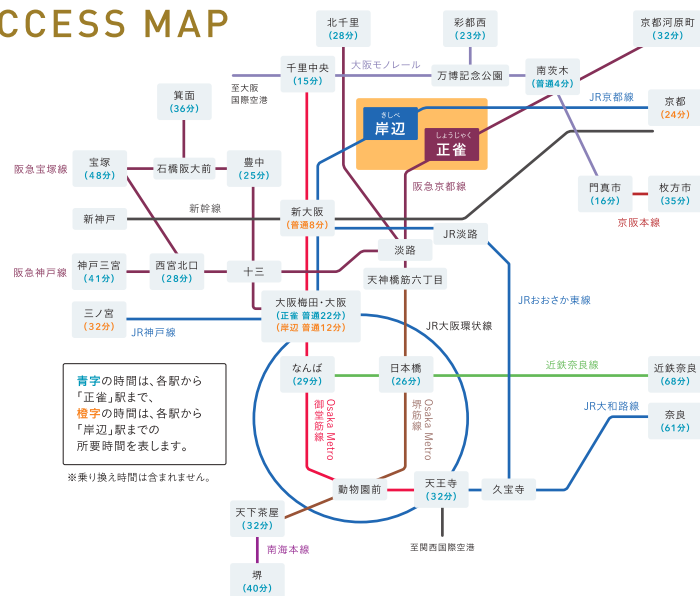
高木 麻未 講師〔公認心理師〕
社会心理学 **対人行動**

筒井 優介 助教〔公認心理師・臨床心理士〕
心理臨床学 **心理療法** **箱庭療法**

坂下 英淑 助教〔公認心理師・臨床心理士〕
臨床心理学 **職場のメンタルヘルス** **産業カウンセリング**

羽下 飛鳥 助教〔公認心理師・臨床心理士〕
臨床心理学

ACCESS MAP



最寄駅から大学まで

阪急京都線「正雀」駅から徒歩5分 JR京都線「岸辺」駅から徒歩10分



成長に、本気。
大阪人間科学大学
 大学院 人間科学研究科

人間科学専攻
 修士課程(2年課程)
 〈心理学専門職コース・心理学総合コース〉

大阪人間科学大学大学院 検索



〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 TEL.06-6381-3000 (代表) TEL.06-6318-2020 (入試広報センター) <https://www.ohs.ac.jp/>

The Graduate School of
Osaka University of
Human Sciences

大阪人間科学大学
 大学院 人間科学研究科 2023



学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学
 大学院 人間科学研究科

大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科

大阪人間科学大学大学院では、人びとが心身の健康に向けた力を十分に発揮し、より良い人生を目指すことができるように、健康に関する科学研究とその成果を実践に活かすことができる専門家の育成を目的としています。

本大学院の特色は、心理学専門職の国家資格である公認心理師を目指す『**心理学専門職コース**』と、これまで培ってきた専門領域をより発展させるためのリカレント教育や心理学の学術的探求を行う『**心理学総合コース**』の2つのコースにあります。

これらのコースによって、大学院生個人の成長のみならず社会全域の発展についても貢献しうる教育の充実化を図っています。



Admission policy

本研究科が求める人物像

1. 心理学に関連する基礎知識と十分な基礎学力及び社会人基礎力をそなえている者。
2. 人びとの健康の回復、維持、そしてその増進に寄与する志向を持つ者。
3. 研究を実践に活用して社会に貢献する意欲を有している者。



長期履修制度について 自分のペースで仕事と学習の両立を実現！

長期履修制度とは、職業を有するなどの事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、標準修業年限(2年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位の取得を可能とする制度です。長期間でマイペースに学べ、無理せず仕事と大学院での学びが両立でき、じっくり時間をかけて学ぶことができます。

申請資格

- 職業を有し、就業している者(正規雇用者に限らず、主として当該収入により生計を維持している者)で、著しく学習時間の制約を受ける者
- 家事、育児、長期介護などにより、著しく学習時間の制約を受ける者

履修期間

3年又は4年のいずれか(長期履修の開始時期は入学時点とし、学年の途中から開始することはできません。また、履修期間は延長できません。)

心理学専門職コース

POINT

○悩める人たちの支援を行う心理専門職である**公認心理師受験資格者**の養成を行うことを目的としたコースです。

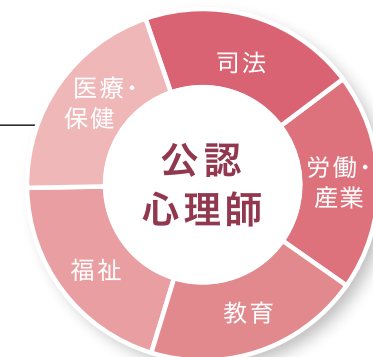
○心理カウンセリングの技法はもとより認知行動療法、応用行動分析、ストレスカウンセリング、解決志向アプローチなどセラピーに通じた心理学について幅広くそして深く学びます。

○公認心理師受験資格に関心を持つ人をサポートする教育を行います。

※公認心理師国家試験を受験するためには、卒業した大学において公認心理師受験資格取得に必要とされる学部科目を修めておく必要があります。必要な学部科目の履修状況については、卒業したあるいは卒業する大学に確認してください。

公認心理師が活躍する領域は数多くあります。

- スクールカウンセラー ●病院の心理カウンセラー ●会社の心理相談員
- 児童相談所や福祉施設の心理職 ●家庭裁判所調査官
- 少年鑑別所や拘置所などの法務技官(心理) ●警察の相談員 など



開講科目一覧(公認心理師受験資格取得に必要な科目)

心理実践科目

- 保健医療分野に関する理論と支援の展開 ●福祉分野に関する理論と支援の展開 ●教育分野に関する理論と支援の展開
- 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 ●産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ●心理的アセスメントに関する理論と実践
- 心理支援に関する理論と実践 ●家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 ●心の健康教育に関する理論と実践

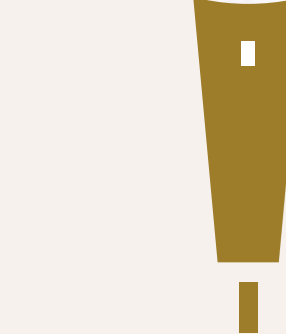
実習科目

- 心理実践実習

研究演習科目

- 人間科学研究演習Ⅰ ●人間科学研究演習Ⅱ





李玉蓮 さん
大阪人間科学大学大学院
人間科学研究科 人間科学専攻 心理学専門職コース

STUDENT'S VOICE

公認心理師の受験資格を取得でき、また、応用行動分析を学ぶことができる大学院を探していたところ、インターネットで本学大学院のことを知り、興味を持ちました。研究室訪問時の先生との交流が印象に残り、ここなら安心して勉強できると感じて、進学することを決めました。

現在、授業は講義だけでなく実習もあります。毎週ケース・カフェレンスがあり、大学院生が順番に実際の現場であったことを発表し、先生や院生のみなさんから意見やアドバイスをもらいます。

また、心理・教育相談センターで面接の陪席やプレイセラピーを実際に体験し、クライアントと接する機会もたくさんあります。

その他にも、心理検査やロールプレイングなどの授業もあり、院生の時からたくさん練習する機会があります。指導の先生は現場経験豊富な先生なので、これまでの経験を活かし、臨床のコツを学ぶことができます。

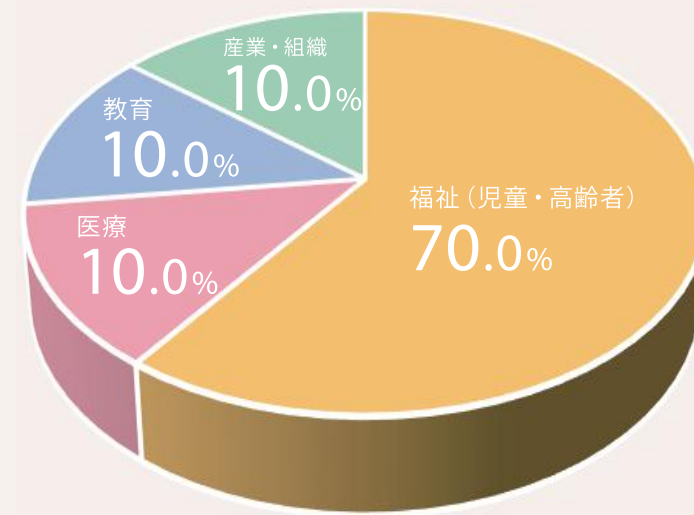
本学大学院の魅力は先生との距離が近く、何でも質問しやすい環境であることです。少人数で授業をしているので、意見や考えを自由に発言することができます。

また、修士論文や実習で困ったことなども相談しやすいところが魅力です。国家試験対策もあるため公認心理師取得に向けて集中して勉強することができます。

将来は、外国の方も気楽に相談できる窓口を作りたいです。現在、日本にいる外国人は年々増加しているため、外国人の母親の育児不安や子どもの不登校などの問題を解決できるカウンセラーになることを目指しています。

そのために、授業や実習で心理支援が必要とされる様々な分野を学び、自分の視野を広げたいです。

修了者の業種別状況



（2016年修了生から6年間の実績）

公認心理師の合格率

83%

本学

61%

全国平均

（2018年から4年間の平均）

公認心理師として活躍する 修了生の声

私は大阪人間科学大学で心理学を4年間学び、公認心理師として心理専門職に携わりたいという思いから、本学大学院への進学を決めました。

現在は公認心理師として、クリニック2か所と夫婦・カップル専門カウンセリングルームでカウンセリングや心理検査、教育相談を担当しています。普段なら出会えないような人の考えや生き方を間近で聞くことができ、私自身にとって参考となる学びが数多くある点にこの仕事のやりがいを感じます。

本学大学院での講義は少人数制のため、質問や意見交換が活発に行われ、疑問点を解消しながら理解を深めることができます。また、指導教員との距離が近く、些細なことに親身になって相談に乗ってもらえるので、日頃から手厚いフォローを受けることができます。

特に、公認心理師取得に向けた実習や国家試験対策に関するサポートにおいては、現場経験豊富で業界の最新の動向に詳しい指導教員が一丸となり、万全の体制で私たちをバックアップしてください。この環境で学びを進められたからこそ、自身の夢を叶え、公認心理師としての道をスタートできたと実感しています。現在でも、在学中にお世話になった指導教員の方々から継続してアドバイスを受けるなど、心理カウンセラーとしてより成長するために努力を続けています。

本学大学院では、現役生に限らず社会人を含めた幅広い年齢層の方々が学びを進めており、多様な視点や価値観に触れ、刺激を受けながら自身の研究や資格取得に取り組める点が大きな魅力です。この学びの環境で、ぜひ皆さんの目標や夢を実現してください。



野中 美幸 さん

2018年3月 大阪人間科学大学 人間科学部
医療心理学科 臨床発達心理専攻
（現 心理学部 心理学科）卒業
2020年3月 大阪人間科学大学大学院
人間科学研究科 人間科学専攻
心理学専門職コース 修了





POINT

- 心理学、医療、教育などにおいて、心身の健康に関連する仕事に従事している人や、これから専門の業務に進もうとする人に対するリカレント教育の場を提供します。
- 大学で学んだ心理学や他の行動科学の研究を深めることもできます。
- 看護師、保健師、教員、その他人びとの健康に関連する現場において、対人援助の更なるスキルアップを目指す人、心理学の研究を継続したい人への教育を行います。

修了後の進路

- 医療・保健・教育・社会福祉における専門職
- 企業におけるメンタルヘルス担当者
- コミュニティにおける相談業務職など高度な対人援助職
- 健康分野における研究者

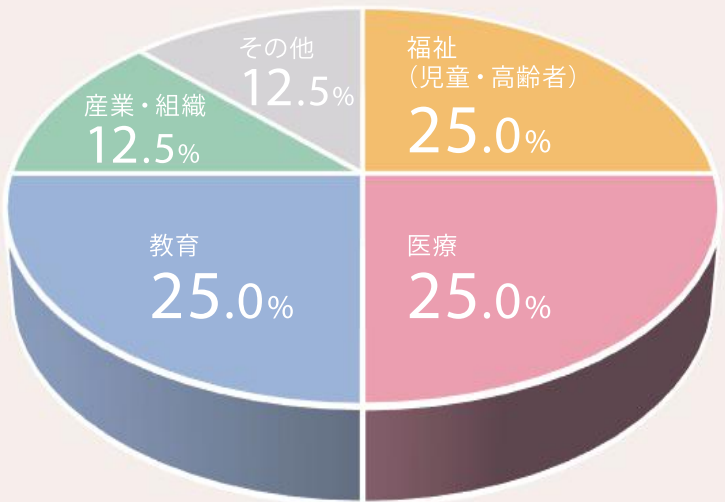
開講科目一覧

※カリキュラムは変更になる場合があります。

特論科目	●精神医学特論 ●社会福祉学特論 ●応用行動分析学特論
特殊講義科目	●人間科学特殊講義Ⅰ ●人間科学特殊講義Ⅱ
演習科目	●心理学研究法演習 ●行動観察・分析法演習 ●ソーシャルリサーチ演習 ●多変量解析法演習 ●質的研究演習
実習科目	●健康心理カウンセリング実習 ●健康心理アセスメント実習
研究演習科目	●人間科学研究演習Ⅰ ●人間科学研究演習Ⅱ

一部公認心理師対応科目を受講することができます。

修了者の業種別状況



（2016年修了生から6年間の実績）

修士論文題目（一部）

- 行動上の問題がある生徒への応用行動分析に基づく支援が及ぼす効果
- 血液透析療法を受ける患者のレジリエンス尺度の開発
ー信頼性・妥当性の検討ー
- 精神科看護師のワークモチベーション測定尺度の開発
- 集団音楽療法による意欲の促進と「生き甲斐」との関係性の検証
- 学業的援助要請と自己効力、結果予期、結果価値との関連性についての検討



大賀 久美子 さん

2021年3月 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科
人間科学専攻 心理学総合コース 修了

修了生の声

私は中学校で特別支援学級の担任をしていました。そして定年を迎えたことを機に、発達障害や精神疾患などについてもっとじっくりと詳しく知りたい、さらに心理学を基礎から学び直したいと思い大学院進学を決めました。さまざまな大学院を検討するうちに、本学大学院には社会人入試があること、家からも再任用の職場からも近くて通いやすいことに興味がそそられました。さらには、長期履修制度があり、4年間をかけて学びながら、仕事を続けられることにとても魅力を感じ進学を決めました。

大学院修了後は長年勤めた学校から離れ、今は発達障害児の療育機関で働いています。小学生・中学生それぞれ3人のクラスを持ち、主にソーシャルスキルトレーニングを行っています。本学大学院で学んだ発達障害児の特性や、いろいろな場面での心理状態を考えながら子どもたちや保護者と接しています。また、大学の専門支援アドバイザーとして大学生の学習支援もしています。大学に入学したけれど勉強がわからない、レポートが書けないといった悩みを持つ学生が、単位取得を円滑に行えたり、中退しないように働きかけたりしています。とりわけ、カウンセリング・マインドを活用して、学生が気軽に相談に来られるように、学生に寄り添った支援に努めています。これも本学大学院での心理学の学びがとても役立っていると思います。

私は「心理学総合コース」へ入学しましたので、当初は公認心理師の取得は考えていませんでした。しかし、公認心理師の活動や内容について知るうちに、本来のチャレンジ精神が湧き起こり、現任者講習を受け、さらに受験もしました。そして無事に合格できたことは、自分の新たな可能性を広げられる良い機会となりました。現在の仕事で行うカウンセリング活動は、公認心理師としての自信と大学院での臨床心理学的な学びのおかげと実感しています。

大学院は少人数で学ぶところですが、特に本学では先生に質問をしたり、みんなと議論をしたりする場を持つことが容易にでき、自分の立ち位置や学びの進捗を振り返る機会を多く持つことができました。発表も多くて大変でしたが、いろいろな知識を得ることができました。集中講義を担当される外部の先生方も熱心に教えてくださり良い話をたくさん聞けました。また、大学(学部)の授業も聴講できたので、関心のある講義を受けてさまざまな心理学について学ぶことができました。今となっては貴重な経験になりましたが、修士論文を学術的な視点や表現でまとめることにとても時間がかかりました。しかし、指導教員が非常に丁寧に指導してくださり、納得のいく研究ができたと思います。さらに、公認心理師受験の勉強会にも参加し、試験対策をしてくださったことで無事に合格することができました。社会人3人の同期生とは今も連絡を取り合っています。大学院で新たな友を見いだせたことも良かった点だと思っています。

修了生の声

私は、幼少期に母の影響でピアノを始め、その後、高校生までピアノを続けていたのですが、大学進学の際に演奏技術を高めるだけではなく、社会に貢献できる音楽をしたいと思い音楽療法を勉強し、卒業後は音楽療法士として活動していました。

しかし、活動していく中で、音楽の効果や、そこから生まれる対象者の変化について、多くの疑問点が出てきました。音楽療法の定義には、「音楽を意図的・計画的に使用する」とありますが、同じ演奏でも対象者によって効果は様々です。そのため人の心の仕組みや動きの法則性を学ぶことで、音楽療法をより理論的に実践することができるのではないかと思います、大学院に進学することにしました。

また、オープンキャンパスで訪問した際に、担当の先生に実際のカリキュラムを教えていただき、仕事と学業を両立し充実した学生生活が送れるのではないかと、進学しよう決めました。

現在は、病院に併設しているデイケアやデイサービスで、音楽療法士として勤務しています。本学大学院では、多くの先生から学ぶことで、幅広い分野の心理学を勉強できました。

また、それぞれ目指す職業に向けて勉強に励む学友からは、社会において様々な場所が必要とされるであろう心理学の可能性を知ることができました。

そして、心理学を勉強することで「人間」という存在の理解を深めることができ、社会の中で「より良く生きていく」ということを考え、実践することの必要性和その方法を理解することに繋がりました。今後も、対象者に寄り添い、より良い生活に繋がるような音楽療法ができるように努めていきたいと思っています。

それぞれ誰もが、好きな歌手や演奏家、曲があって、それを聴いたり、演奏することで、自身の感情の変化を実感するときがあると思います。しかし、音楽の力そのものに明確な効果を実証した研究は多くありません。本学大学院の心理学の学びを元に、今後、音楽の有効性を研究することで、より一人ひとりに合った寄り添いができるように、成長していきたいと思っています。

本学大学院は、先生との距離が近く、いつでも相談に乗っていただきました。修士論文では、音楽療法を取り入れた研究をしていた私ですが、他分野のことでこそ親身になって、歩み寄ったご指導をしていただけました。

また、心理学専門職コースの同期の人たちが自主的に集まり国家試験対策の勉強をする姿は、私にとって刺激となって向上心に繋がりと、充実した学生生活を送ることができたと思います。



塩見 夏奈子 さん

2021年3月 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科
人間科学専攻 心理学総合コース 修了
社会福祉法人寺田萬寿会 寺田萬寿病院 勤務